

A子さんへの手紙

A子さん、私は現在市岡日本語教室でボランティアをしています。あなたに参加してもらいたいので、この教室の特色をお話します。

まず教室所在地が、市岡高校同窓会館及び一部教室という事です。

私たちはここを無償で貸してもらっています。理由はパンフレットを見てください。次に、NPO組織であるということ。ああ、NPOねと簡単に考えてしまいましたが、年一回大阪府に書類提出を義務付けられているので、やってみると大変な労力です。さらに、専従職員はいません。

全員ボランティアで運営しています。市町村などが主催する日本語教室では、事務や清掃はほとんど会館側がやってくれます。日本語ボランティアは教えるだけの存在が大半ですが、ここでは何もかも自分たちでやります。また、ボランティア、学習者の数が非常に多いのも特徴です。年度末になると、登録者が合計四百人を越えます。帰国したり何かの事情で、出席者は半分以上以下です。

こう書けばとてもステキなところに見えますが、一皮めくれば危険がいっぱい。まず、市岡高校が何らかの理由で場所を貸さないといった場合、私たちは活動の場を失います。そのことに対する危機感、ほとんどの人にはありません。だから、当番班になっていても、参加しない(できない)人が多く、いつも少人数でバタバタしています。きちんと管理し、できるだけ現状維持すれば、学校側に信頼され長く使わせてもらえるのに、それを理解している人がすくないのです。もっと厳しく言えばアドバ

イスしてくれる人もいますが、ボランティアの意味が志願とか自発的である以上、こちらも同じ立場だからきつく言いたくはありません。授業前の清掃など時間的に無理な人もいるし、言われても辛いだだけだと思ってしまう。そこまでの事情すら分かっていないのが現実ですから。

次に資金の面ですが、当初は田龍会という定時制の同窓会が応援し、バックアップしてくれていたのですが、十年たち、それがほとんどなくなりまして。高齢化と不況のせいです。年会費と研修費だけで運営していく状態が続くと、コピー機も買えなくなりまして。

三つ目は、理事長が交代し方針が変わったことです。今までは市岡高校関係の理事たちが、地元の人脈を生かし率先して仕事をしました。御幣はありますが、普通のボランティアは楽だったと思います。これからはそうではありません。理事長は企画し提案しますが、仕事はみんなです。民主的ですが、各人の仕事量は確実に増えます。一部の人はさらに増えるでしょう。仕事と書きましたが、これが収入を伴う仕事でないだけにしんどい部分があります。自分はともかくとして、他の人にやってもらえるかどうか、不確定ですし強制もできません。自覚の問題です。

四つ目は自己表現型のボランティアが増えました。ボランティアだから、基本的にはどんな目的で参加してもいいし、それをフォローするのでもボランティアだと思えますが、最近はずいぶんです。でも、とどのつまりは、人手が足りないのです。百六十人以上もボランティアがいて不思議に思うでしょうが、確実に参加できる人は限ら

れています。それも仕事が多忙になったり、病気になるったり、家族に病人がでたりするとお手上げです。そうになると、どんな目的で参加してもいいという言葉がきれい事になってしまい、あれをしてくれない、これをしてくれないとなってしまいます。ボランティアなのだからと思いつつ、不満に思う自分がいるのです。

では、なぜここでボランティアをしているの?と思うでしょうね。一言で説明しにくいのですが、私自身の在日外国人に対する思いがあります。今後日本で生活する外国人が減ることは絶対にあります。これから老後を迎える私にとって、外国人の援助なしに暮らすことは不可能になるでしょう。彼らと共に生きていくために何ができるか、元気な今だからこそ考えなければなりません。

これは私たちの課題です。彼らが日本を好きになる。私たちが彼らの国を好きになる。そうならば、「彼ら」と「私たち」と言う言葉も意味を成さなくなるでしょう。「彼ら」と「私たち」をつなぐもの。それは日本語です。彼らが日本語を使って、日本人とコミュニケーションする。即効性はありませんが、このことが相互理解と発見につながります。日本語を教えている私たちが、彼らから何かを教わっているのではありません。それが何か、人によって違います。それが何年か継続したら各人の形になるはず。それが私たちの財産です。今、私は直接教えていませんが、彼らの好奇心に満ちた目を見るたび、がんばらなくてはならないと思います。それが私の理由です。

日本のお正月 「初詣」について

初詣(はつもうで)とは、新年の最初に寺や神社にお参りし、一年の幸福をお祈りすることを言います。

初詣は元旦の未明(午前0時)から七日まで行われます。その間、神社は大勢の人で賑わいます。

神社での一般的なお参りの仕方は、まず拝殿(はいでん)の前でおじぎをし、次に鈴の付いた綱を引いて鈴を鳴らし、神様に自分の存在を知らせます。そして賽銭(さいせん)箱に賽銭(お金)を入れます。深く二回おじぎをし、手のひらを二回たたき合わせお祈りをします。最後にもう一度おじぎをします。

そのあとは無事に一年を過ごせるように「お守り」を買ったり、「おみくじ」を引いて運勢を占ったりします。おみくじの見方は「吉」が良く、「凶」は良くないとされています。もっとも良い運勢が「大吉」です。

新年が良い年になるように、ぜひ初詣に出かけてみてください。昔ながらの日本の風習が味わえると思います。

(小木野恵)



6月に行われました十周年記念行事の日本語議論大会の内容を今号より数回にわたり連載します。日本語として少しおかしい部分も原文のまま残してある場合があります。

十周年記念日本語議論大会より

① 台湾・丁さん

皆さん、こんにちは。私は丁と申します。私は今年の1月に日本語を勉強するために留学生として台湾から日本に来ました。私、最初日本に来て、飛行機から降りた時、環境がとても綺麗で、空もとてもおいしい、すごくいい国と思いました。日本に来る前に、自分が台湾で習った日本語がほとんど日本人に通用するかどうか、とても心配でしたが、でも、実際に学校の職員に話かけると、通じました。その時はとても嬉しかったです。

そして、日本の食べ物はとてもおいしいです。台湾にいる時は、サシミなどの物は全く食べなくて、でも日本に来たら、初めて回鍋肉(ホイロウ)を食べ、すごくおいしかった。納豆も台湾の金糸納豆と違って、ご飯にかけたら、すごくおいしいです。た、焼肉屋の通って、中身がふわふわして、とてもおいしい、さすが大阪の焼肉です。

最後にアルバイトについて話したいです。日本に来て、三ヶ月過ぎて、四月に初めて初めてのアルバイトを見つけて、心算橋のモスバーガーに就職しました。店長は従業員がとても優しく、色々なことを教えてくれました。最初自分外国人なので、うまく接客できるのかわからず不安で、でもお客様アンケートで書かれた言葉を見たら、自身が出て来ました。今はもう三ヶ月が過ぎて、仕事も慣れて、とても楽しいアルバイト生活です。

私はあと半年くらい日本で勉強しますので、皆さんよろしくお祈りします。ご返信ありがとうございます。

② 台湾・林さん

私は林と申します。去年の10月に台湾から来ました。私の名前は日本人の名前と同じで、はやしと申します。今、大阪のメリック日本語学校、日本語を勉強しています。

日本は美しい所がたくさんあって、最初に行った京都もとてもきれいで、私は旅行が好きなので、色々な所へ行ってみたいですね。

まず、トワイライト・エクスプレスに乗って北海道に行きたいです。そして牧場行って、牛の乳絞りをしたいです。また、牧主が羊をまとめるのも見たいです。あと温泉でゆっくりしたり、かにを食べたいです。

冬にはスキーもしたいです。今年の正月に兵庫県のスキー場、スノーボードをしました。初めての冬に、スキーも滑りました。気分もよかったです。もちろん、初級コースで滑りましたが、いつもこけて、おしりが痛かったです。

1日目の夕方にはスノーボードの自信がなくなっていました。でも、2日目からスノーボードにどんどん慣れてきました。自信もつきました。それから山の頂上の中級コースで滑ることができました。何度も行くと、あまり、こけなくなりました。

言葉の勉強も同じで、失敗をたくさんしても、どんどん勉強をして、たくさんの人と話をすると、自信もつくとおもう。私の日本語はまだ初級です。でももっと勉強して、かかべたいと思います。

私は台湾へ帰ったら、両親に会いたいです。台湾へ来たことがあったら案内します。

今日はずっと緊張しました。これからもよろしくお祈りします。最後は一言、彼女、募集です！ 今日はずっとありがとうございます。謝辞。



(一) ボランティアより

